

2023年の主な出来事

※かごしま国体・大会関連は4面をご覧ください

- 1月** 7日 第53回桜島火山爆発総合防災訓練(避難所体験・展示訓練)
8日 「新成人のつどい」から名称を変更「はたちの集い」開催

- 2月** 1日 本庁・谷山支所に「コンビニ交付機」設置
9日 **1**「マグマやきいも電車」を2年ぶりに運行
11日 原子力防災訓練
20日 魚類市場(鹿児島港)の令和4年次生鮮カツオ(釣り部門)水揚げ量が初の日本一に
2中学生が対象の「市長と語る会」初開催

- 3月** 5日 **3**4年ぶりに開催「鹿児島マラソン2023」
22日 平川動物公園でホッキョクグマ「ライト」を公開

- 4月** 1日 都市農業センターの6次産業化商品開発室(通称:6次化ラボ)供用開始
女性活躍アドバイザーを長利京美氏に委嘱
21日 観光振興・人材育成のため和歌山大学観光学部と相互連携協定を締結

- 5月** 8日 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行
9日 天文館図書館 来館者100万人達成
28日 **4**「渋谷・鹿児島おはら祭」、「鹿児島焼酎&ミュージックフェスin渋谷」開催

- 6月** 3日 **5**「防災シンポジウム」で8・6豪雨災害の記憶や教訓の継承
9日 4年ぶりにマイアミ市の高校生が来鹿

- 7月** 8日 「マグマeスポーツフェス」初開催
12日 世界水泳2023福岡大会イギリス競泳チームがチャンピオン
16日 **6**「いい! e-Bike! こおりやま」レンタルスタート
22日 4年ぶりの「潮風フェスタ」おごんさあ宵祭と同時開催
7本市訪問団が姉妹都市マイアミ市を訪問
29日 高校生による芸術文化の祭典「2023かごしま総文」が開幕
30日 **6**「吉田DEわくわく」〜山・川編〜 を開催



- 8月** 1日 認知症の人やサポーターなどが集い交流活動を行う「チームオレンジ」活動スタート
5日 **8**世界マスターズ水泳選手権2023九州大会アーティスティックスイミング開幕
6日 平成5年の8・6豪雨災害から30年
10日 桜島フェリー 錦江湾ナイトクルーズ初運航
19日 かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会 ディズニードローンも夜空を舞う
22日 地域福祉館への公衆無線LAN(Wi-Fi)の設置完了
26日 かごしま国体・大会へ思いをつなぐ炬火リレー **4面**

- 9月** 16日 「Stanford e-Kagoshima City」開講
かごしま国体会期前実施競技(水泳・体操)がスタート **4面**

- 10月** 1日 市営バスの運賃を改定
がん検診web予約スタート
胃がん検診 胃内視鏡検査を開始
119番映像通報システム(Live119)運用開始
「鹿児島市客引き行為等の禁止に関する条例」施行
マーケティングプロデューサーを千葉辰典氏に委嘱
7日 51年ぶりの開催 かごしま国体開幕 **4面**
16日 地域公民館への公衆無線LAN(Wi-Fi)の設置完了
28日 本県初開催 かごしま大会開幕 **4面**

- 11月** 3日 約26万人が訪れ盛大に「おはら祭」 **7面**
11日 第54回桜島火山爆発総合防災訓練(住民避難訓練)
18日 「かごしままちなか文化彩」を初開催 **20面**
20日 AIオンデマンド交通実証実験「チョイソコかごしま」開始
23日 「まつもと まるっとマルシェ」開催
25日 4年ぶりに開催「かごしまアジア青少年芸術祭」

市長からのメッセージ

この一年を振り返って



クリスマスの装いのまちを多くの人が行き交い、にぎやかな師走の訪れを感じます。
今年にはコロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、本市でも、かごしま国体・かごしま大会や高校生の総合文化祭をはじめ、全国規模の大会を相次いで迎え、サマーナイト大花火大会やおはら祭も四年ぶりに観覧制限なしで開催するなど、たくさんの方との交流とにぎわいが生まれました。まちに笑顔があふれた年になり、心からうれしく思います。

人もまちも活気を取り戻す中、人口減少時代を見据え、選ばれる鹿児島市になるための重点的な取り組みを積極的に進めた年でもありました。

子育て環境の充実については、待機児童の解消を最優先課題として、保育の受け皿や保育人材の確保などに様々な対策を講じ、待機児童の数を大きく減少させることができました。

また、コロナ禍の生活に利便性をもたらしたデジタル技術は、誰もが住みよいまちに向けてその活用を広げていきます。市のほとんどの施設で予約から支払いまでインターネットでできるなど、「行かなくてもいい市役所」づくりを進め、公共交通が不便な地域での新たな交通手段の実証実験として、AI(人工知能)を用いた予約型の乗合送迎サービスも始めました。

さらに、稼げるまちづくりの推進に当たっては、中心市街地の各所で歩行者天国などの催しが次々に繰り広げられるなど、地域や事業者の皆さん、若い世代の皆さんと手を携えて、まちの新たな活力づくりに取り組むことができました。多機能複合型スタジアムの整備についても、引き続き多くの皆さんと共に考え、検討を行ってまいります。

来年は、市長としての任期の締めくくりの年となります。この三年間、市政運営に賜った多くのご理解ご協力、温かい励ましに深く感謝申し上げます。長引く物価高騰への支援などしっかりと取り組みながら、市民の皆さんとお約束した諸施策の総仕上げに全力を尽くし、市勢の発展にまい進してまいります。

令和6年が希望にあふれる素晴らしい年となりますよう心よりお祈りいたします。

鹿児島市長 下鶴隆央